

市政について  
問う!

一般質問  
代表質問

第八回（二月）定例会では、令和七年度の市政に対する代表質問が行われ、六つの会派及び無所属の議員から質問がありました。

※代表質問は「一括質問一括答弁方式」で実施しています。  
※無所属議員は、三名以上の会派の了承を得た上で、同会派の発言時間を使って質問することができます。



全ての質問項目  
(通告一覧)  
はこちら



代表質問の方式が  
変わりました!

主な変更点

- 質問内容: 市長の施政方針に関すること
- 質問者: 会派から1人
- 市政に関すること(施政方針・新年度予算)
- 会派内の所属議員何人でも質問可能
- 無所属議員は了承を得た会派の残り持ち時間を使う(最大10分)

※2月定例会においては、個人質問は実施しないこととなりました。

パラスポーツの振興に向けた取組は

志政会

**問** パラスポーツの振興に向けた取組は。

**答** 市長／市民のパラスポーツへの関心を高めるため、県が設立したふじのくにパラスポーツ情報センターと連携し、競技の紹介や大会・イベント情報などを市ホームページやSNSで発信するほか、同センターと連携した障がいのある人のスポーツ活動に関する個別相談の実施や、地域と連携したパラスポーツに触れることができるプログラムの充実など、啓発活動と市民参加の促進に取り組む。また、スポーツ施設のバリアフ

リー化や障がい者に配慮した設備の充実について、他自治体の事例を参考に検討を進めるとともに、県と連携した、パラスポーツ競技の体験会の開催などにより、人材の発掘・育成を図る。これらの取組を進めることにより、スポーツを通じた多様性への理解と、互いに支え合う地域コミュニティの形成を目指していく。



▲車椅子を固定した状態で競技を行う車椅子フェンシング



渡邊 博夫

誇り高いまち沼津の実現に向けた令和7年度の取組は

志政会

**問** 誇り高いまち沼津の実現に向けた、令和七年度の取組は。

**答** 市長／まちづくりの中核をなす沼津駅周辺総合整備事業においては、令和六年十一月に新車両基地の工事に着手し、目に見える形で整備が進んでおり、今後も県及び鉄道事業者と協力し、一日も早い完成を目指し取り組んでいく。また、スポーツや文化芸術を生かしたまちづくりや、アニメコンテンツを活用した施策など、本市ならではの特徴を生かした取組により、本市の魅力を全国や海外に発信し、さらなるにぎわいの創

出につなげていく。さらに、出会い、結婚、妊娠・出産から子育てまで、切れ目のない支援により、子育てしやすいまちを目指すとともに、子どもたちが地域で健やかに成長し、様々な分野で活躍できるよう、地域総がかりで取り組む教育を推進していく。加えて、活力ある沼津の礎となる新たな産業・雇用の創出や、安全・安心の下に暮らすことのできる災害・防災対策の強化など、様々な施策に積極的に取り組み、市民がまちに誇りを持ち、いきいきと活躍できるまちづくりを推進していく。

浅原 和美

